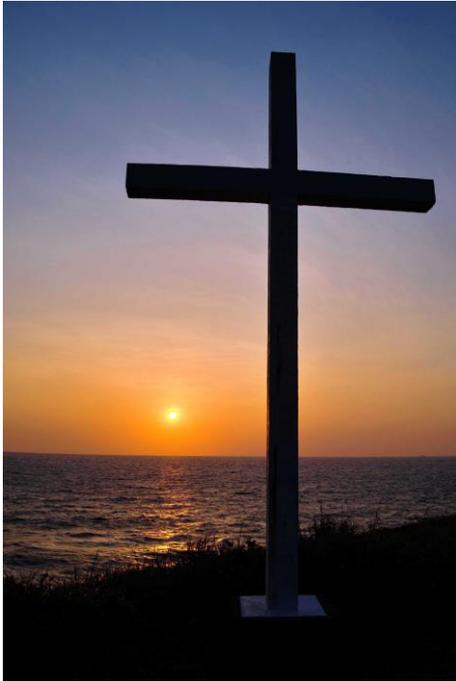


詩編第22編と 主イエスの十字架



2021年9月15日

井田 泉

1 【指揮者によって。「暁の雌鹿」に 合わせて。賛歌。ダビデの詩。】

- おそらく後の詩編の編集者による加筆。
- 「暁の雌鹿」は旋律の名称か？ 詩編は礼拝で歌われる。
- ダビデ自身によるものかは不明。

前半（1～22節） 個人の嘆きの歌

「わたしの神よ、わたしの神よ……」

後半（23～31節） 個人の感謝・賛美の歌

「わたしは兄弟たちに御名を語り伝え……」

【前半】

2 わたしの神よ、わたしの神よ

なぜわたしをお見捨てになるのか。

なぜわたしを遠く離れ、救おうとせず
呻きも言葉も聞いてくださらないのか。

3 わたしの神よ

昼は、呼び求めても答えてくださらない。

夜も、黙ることをお許しにならない。

マタイ27:46

三時ごろ、イエスは大声で叫ばれた。
「エリ、エリ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。

- ・ 詩人は神に見捨てられたと感じている。
- ・ その苦しみの淵から神を呼び求める。
- ・ 「わたしの神よ」を繰り返して神を呼ぶ。
- ・ イエスはこの詩編第22編の嘆きをご自身の嘆きとされた。

- 4 だがあなたは、聖所にいまし
イスラエルの賛美を受ける方。
- 5 わたしたちの先祖はあなたに依り頼み
依り頼んで、救われて来た。
- 6 助けを求めてあなたに叫び、救い出され
あなたに依り頼んで、裏切られたことはない。
- 7 わたしは虫けら、とても人とはいえない。
人間の屑、民の恥。
- 8 わたしを見る人は皆、わたしを嘲笑い
唇を突き出し、頭を振る。
- 9 「**主に頼んで救ってもらおうがよい。**
主が愛しておられるなら
助けてくださるだろう。」

- ・自分が神から切り離されているという苦しみの中で、先祖の信仰と救いの経験を思い起こす。
- ・先祖の神への「依り頼み」が3回繰り返される。
- ・詩人はいま、まったく孤独でありつつも、神の民のつながりの中に自分がいることを自分の支えとする。
- ・しかし現実の悲惨ははなはだしく、人の嘲りを受けている。

マタイ27:43

神に頼っているが、神の御心ならば、今すぐ救ってもらえ。『わたしは神の子だ』と言っていたのだから。」

- 10 わたしを母の胎から取り出し
その乳房にゆだねてくださったのはあなたです。
- 11 母がわたしをみごもったときから
わたしはあなたにすがってきました。
母の胎にあるときから、あなたはわたしの神。
- 12 わたしを遠く離れないでください
苦難が近づき、助けてくれる者はいないので。
- 13 雄牛が群がってわたしを囲み
バシヤンの猛牛がわたしに迫る。
- 14 餌食を前にした獅子のようになり
牙をむいてわたしに襲いかかる者がいる。
- 15 わたしは水となって注ぎ出され
骨はことごとくはずれ
心は胸の中で蠟のように溶ける。
- 16 **口は渴いて**素焼きのかけらとなり
舌は上顎にはり付く。
あなたはわたしを塵と死の中に打ち捨てられる。

- ・ 詩人は今度は自分の出生にさかのぼって神と自分の関係を確認し、そこから神に訴える。
- ・ 「雄牛」「猛牛」「獅子」「犬ども」は自分に襲いかかる苦しみの比喩。あるいは弱り果てたときに攻撃してくる者がいるのか？
- ・ 「わたしは水となって……」
自分の心も体も破滅の状態。

ヨハネ19:28

この後、イエスは、すべてのことが今や成し遂げられたのを知り、「**渴く**」と言われた。こうして、聖書の言葉が実現した。

- 17 犬どもがわたしを取り囲み
さいなむ者が群がってわたしを囲み
獅子のようにわたしの手足を砕く。
- 18 骨が数えられる程になったわたしのからだを
彼らはさらしものにして眺め
- 19 わたしの着物を分け
衣を取ろうとしてくじを引く。

- 20 主よ、あなただけは
わたしを遠く離れないでください。
わたしの力の神よ
今すぐにわたしを助けてください。
- 21 わたしの魂を剣から救い出し
わたしの身を犬どもから救い出してください。
- 22 獅子の口、雄牛の角からわたしを救い
わたしに答えてください。

マタイ27:35

彼らはイエスを十字架につけると、
くじを引いてその服を分け合い、
36 そこに座って見張りをしていた。

- ・ 苦しみの極み、破滅の状態の中で詩人はなお神にのみすがりつく。
- ・ 「わたしを遠く離れないでください」が繰り返される。(12節、20節)
- ・ 「わたしに答えてください」神が沈黙を破ってくださるように。

PSALM 22

The Suffering, Praise, and Posterity of the Messiah

You have answered Me.

22 I will declare Your name to My brethren;
In the midst of the assembly I will praise You.

23 You who fear the Lord, praise Him!
All you descendants of Jacob, glorify Him,
And fear Him, all you offspring of Israel!

24 For He has not despised nor abhorred the affliction of the afflicted;
Nor has He hidden His face from Him;
But when He cried to Him, He heard.

25 My praise shall be of You in the great assembly;
I will pay My vows before those who fear Him.

26 The poor shall eat and be satisfied;
Those who seek Him will praise the Lord.

Let your heart live forever!

27 All the ends of the world
Shall remember and turn to the Lord,
And all the families of the nations
Shall worship before You.[d]

28 For the kingdom is the Lord's, And He rules over the nations.

29 All the prosperous of the earth
Shall eat and worship; All those who go down to the dust
Shall bow before Him, Even he who cannot keep himself alive.

30 A posterity shall serve Him.

It will be recounted of the Lord to the next generation,

31 They will come and declare
His righteousness to a people who will be born,
That He has done this.

22節の末尾

「わたしに答えてください。」（新共同訳）

新しい「聖書協会共同訳」では

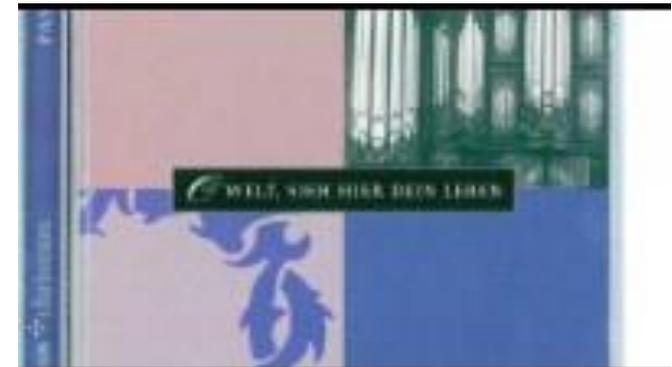
「すると、あなたは私に答えてくださった」と訳している。左の英訳と同じ。

聖歌 146（主の痛みはげしきかな）

歌詞 Johann Hermann

曲 Johann Crüger

<https://www.youtube.com/watch?v=XspqgdLjAVw>



【後半】

23 わたしは兄弟たちに御名を語り伝え
集会の中であなたを賛美します。

24 主を畏れる人々よ、主を賛美せよ。
ヤコブの子孫は皆、主に栄光を帰せよ。
イスラエルの子孫は皆、主を恐れよ。

25 主は貧しい人の苦しみを
決して侮らず、さげすまれません。
御顔を隠すことなく

助けを求める叫びを聞いてくださいます。

26 それゆえ、わたしは大いなる集会で
あなたに賛美をささげ
神を畏れる人々の前で満願の献げ物をささげます。

27 貧しい人は食べて満ち足り
主を尋ね求める人は主を賛美します。
いつまでも健やかな命が与えられますように。

- ・ 22節で決定的な救いが起こった。
神が彼に答えてくださった。
- ・ 23節以下は神への感謝・賛美の歌。
- ・ これまでひたすら神に向かって呻き、
叫んでいた詩人は、今度は「主を畏
れる人々」に向かって呼びかける。
- ・ 神に尊ばれた貧しい人たち(25)の喜
びの食卓(27)。

マタイ27:46

三時ごろ、イエスは大声で**叫ば
れた**。「エリ、エリ、レマ、サ
バクタニ。」

27:50 しかし、イエスは再び大
声で**叫び**、息を引き取られた。

28 地の果てまで

すべての人が主を認め、御もとに立ち帰り
国々の民が御前にひれ伏しますように。

29 王権は主にあり、主は国々を治められます。

30 命に溢れてこの地に住む者はことごとく

主にひれ伏し

塵に下った者もすべて御前に身を屈めます。

・救われた人の感謝と賛美は、
「地の果てまで」「塵に下った者」にまで及ぶ。

(空間の広がり)

・また「子孫」「民の末」にまで広がる。(時間の広がり)

わたしの魂は必ず命を得

31 - 32 子孫は神に仕え

主のことを来るべき代に語り伝え

成し遂げてくださった恵みの御業を

民の末に告げ知らせるでしょう。

ヨハネ19:30

イエスは、このぶどう酒を受けると、「**成し遂げられた**」
と言い、頭を垂れて息を引き取られた。

詩編第22編から主イエスの受難・十字架を見つめる

- イエスは「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」と神を呼び求められた。（イエスは神からもっとも遠いところから神を求め、神を決して離されなかった。言わば人間の側から神に向かって橋を架けてくださった。）
- イエスは「神に頼っているが、神の御心ならば、今すぐ救ってもらえ」と嘲られた。
- 兵士たちはイエスを十字架につけると、くじを引いてその服を分け合った。
- イエスは「渇く」と言われた。
- イエスは大声で「エリ、エリ、レマ、サバクタニ」と叫ばれた。
イエスは再び大声で叫んで、息を引き取られた。
- イエスは、ぶどう酒を受けると、「成し遂げられた」と言い、頭を垂れて息を引き取られた。
（イエスはわたしたちの身代わりとなってくださった。イエスが神に捨てられるという場所に身を置かれた以上、わたしたちはその場所から追い出され、わたしたちが捨てられることはない。わたしたちの救いは成就した。）



「この詩をイエスの救いと切り離してわれわれは読むことが出来ない。……われらの絶望を担い、われらより低く神なき所に下られたイエスの救いをこの詩はわれわれに示す。」

関根正雄（著作集第10巻）



Felix Mendelssohn
Psalm 22

Mein Gott, warum hast du mich verlassen

The image shows a page from a musical score for Felix Mendelssohn's Psalm 22. The title is 'Felix Mendelssohn Psalm 22' in purple and blue text. Below the title is a small portrait of Mendelssohn. The score itself is for four voices: Soprano I, Alto I, Tenor I, and Bass I. The lyrics are 'Mein Gott, warum hast du mich verlassen'. The score is written in G major and 4/4 time.

Mendelssohn Mein Gott, warum Psalm 22